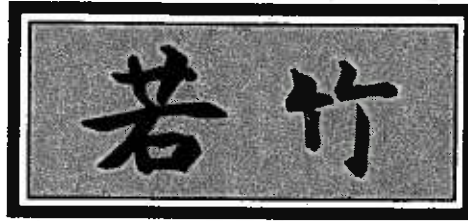


愛媛県神道青年会会報

23



平成2年1月31日

発行

〒790 松山市道後
桜谷町173

愛媛県神社庁内
愛媛県神道青年会

☎(0899)21-7875

会長新年挨拶

愛媛県神道青年会会長
柳原 宰



皇紀二千六百五十年の記念すべき年頭にあたり、謹んで御皇室の弥栄と各神社御社頭の御隆昌をお祈り申し上げます。

さて本年も全国津々浦々の神社が、初詣の参拝者で賑わいを見せております。県内の氏神様のご社頭でも新年の幸せを願う人々が押し寄せ、曾祖父が、ご先祖が、幸せを願った「折りの庭」で、その孫が、子孫が、また同じ折りを捧げております。その姿を見ます時、氏神様という「心の広場」で、まさに時代を超えて、年の初めにまず神に祈り、そして感謝するという神代ながらの変わらぬ日本人の民族性を垣間見るのであります。

元旦や 神代のことも 思われる 古人が詠んだ歌の心がひしひしと伝

- ・ 会長新年挨拶
- ・ ちよつといい話
- ・ アンケート結果報告
- ・ 祝 紀元二六五〇年

- ・ 新会員紹介
- ・ 今上陛下・皇后陛下の皇太子同妃両殿下時代の御歌

わつてきます。しかしながら、新年を迎えるという事は、また一つ歳をとる事でもあります。限りある人生の中で充実した一年一年を過ごして行きたいと思ふのは自然な気持ちであります。門松は冥途の旅の一里塚めでたくもあり、めでたくもなし。

正月を迎えることは、それだけ死に近づいていることにもなる。お正月だからといって浮かれてばかりいないで、生きる事の意味を考えよ、と諭した一休禪師の歌は皮肉な中にも人生の大切さを教えております。

特に本年は踐祚の大嘗祭が執り行われます。我々神道人にとつても大変重要な年であります。一層気分を引き締めて対処していきたいと思つております。昨年十二月に大嘗祭に関する政府見解が決定致しました。その中で大嘗祭を「皇位が世襲であることに伴う一世に一度の極めて重要な伝統的皇位継承儀式」と位置づけて、公的な性格を持つ点から費用は宮廷費という「公金」から支出することになりました。これについて十二月二十三日付愛媛新聞の「社説」では、「大嘗祭」について国事行為を否定したのは当然であるとして「大嘗祭」の公的性格を認め、費用の

宮廷費からの支出を当然視するのは、論理的整合性を欠いていると思われる」とし、「公的な性格」は、あまりに主親的であり、どんな宗教色の強い行事にも、判断により「公費の支出が可能」になるわけで、今後大きな問題を残したといえよう」と述べている。

一方、十二月二十二日付産経新聞の「主張」では「即位の礼はもちろん、大嘗祭についても公金の支出で対応することにしたのは賛成である。大方の国民感情にも沿った判断だと思ふ」として「皇室の祭祀をすべて一般の宗教団体の宗教活動と同一視することはできない。この視点から大嘗祭を即位礼の一環ととらえ国事行為として行へ」という意見も、よく考えてみるべきだ」と主張している。

この様にマスコミの論調にも相当な開きがあり、政教分離についての国民の考え方にかんがりの幅があることを示しております。

我々としまでも今後は、一人でも多くの人に大嘗祭の持つ意義を説き、国民こそぞ「平成の御大礼」を奉祝できる様、世論を盛りあげて行く事が肝要であろうと思ひます。しかしながら、これも最終的には末端の各神社の

祝祭日には
国旗をかがげましょう



えひめ

氏子崇敬者への啓蒙活動如何が大きく影響してくると思ひますので、會員の皆様方には、大嘗祭の持つ宗教的意義、百二十五代に渡つて連続と續いてきた歴史的意義、天照大神をはじめとした歴代天皇の魂の相承の儀式である事等いろんな側面から、事ある毎に、機会を捉えて啓蒙に励んで頂きたいと思ひます。加えて奉祝ムードを盛りあげる為、境内各所・建物等の改修・改築・新規事業等に着手して頂き、平成の御大札をうまく活用して各々の神社の繁栄に結びつけてもらいたいと思つております。

振り返りますと昨年は、特に国際情勢においては劇変の年でありました。六月の天安門事件に始まり、ベルリンの壁の撤去・東欧諸国では自由を求めて地殻変動がまだまだ続いております。けれどもヨーロッパで自由主義を希望する国が増えたからといって、喜んでばかりもいられません。アジアの情勢は少しも変わっておりません。今後日本を取りまく環境を考えますと、東欧の再編成・ECの統合・日米経済摩擦・「コメ」の自由化問題等、これからの日本は、日本を弱めようとする世界のあらゆる動きに抗して存立していかなければならぬ厳しい情勢が続くであります。そういう情勢にも目を配りながら本年も「日本の伝統と文化を守る」ために微力ながら活動して行きたいと思つております。會員の皆様方には昨年同様、積極的な御参加をお願い申し上げます。

最後に、本年も神社庁をはじめ、県内各宮司様、先輩諸兄の変わらぬ御理解、御協力をお願い申し上げます。

ちよっといい話

昆布のだし汁のうまさから
「味の素」が誕生

池田菊苗博士は、夕食の膳につき、何気なく吸い物のわんを手にしてひと口すすつてみたところ、これまでに感じたことのないおいしさに
「どうして今夜の吸い物はこんなふうまいのだろうか」
と池田博士は疑問に思つて夫人に尋ねたところ

「今日、日比谷で開かれた産業博覧会で調味料として昆布を買つてきたのを入れたからよ」
とうれしそうに答えたのです。昆布を入れるとうまいだし汁が取れるのはなぜだろう。誰もが知つていふことに池田博士は疑問を抱いていたので、明治四十一年頃のことです。翌日から研究室に閉じこもり昆布の分析を始めました。

水分を抜き、でんぷんを取り除き、何度も何度も実験を重ねた結果、とうとうグルタミン酸ナトリウムを発見したので、今や世界の食卓にのるようになった味の素は、こうして池田博士の関心の強さと旺盛な研究心から誕生したのであります。

どうしてなぜ?の研究心は私達の日常生活の中にも、事業商売の中にも一寸と心してゆけば、いくらでも転がっている材料からひろいあげることができると思ひます。

「限り無い発展へのヒントは
足元にあり」

読書きの中から自分の改めるべきことを見つけようとした 徳川家康

大坂夏の陣の前に、家康が京の二条城にいたときの話です。

そのころ、京の町のあちらこちらに家康の落書きが目立つようになりました。京の人々は豊田家びいきで、亡き秀吉をしいたい大阪城の秀頼の勝利を願つてゐる者が多く、そんな感情が落書きの内容にあからさまに出ていたのです。

京都所司代の板倉勝重は、捨ててはおけなくなり、家康に犯人捜査を申し出ました。

ところが家康は、
「かまわぬ、そのままに捨ておけ」と氣にとめません。その上
「どんなことを書いてあるのか、見てみよう。持つてまいれ」と命じました。

勝重が家康に命じて市中より集めさせ、おそれ入り乍ら家康に差し出しますと、家康は、目を走らせたのち

「これからも落書きを禁ずることはならぬ。はしたないことではあるがわしの心得になることもある。幾度でも見るから、また集めてまいれ」といいました。

家康は、感情に走らず、落書きの中に自分の改めるべきことを見つけようとした。家康が尋常の人でないことはこのことからもうかがえる。

一つの博話であります。



本年もよろしく
お願い申し上げます

役員

会長	柳原 幸
副会長	湊 照彦
事務局長	御田村 俊一
理事	吉田 充邦
教化	武智 正人
	鴨頭 照彦
	額田 浩丸
事業	久保 浩丸
	池内 公和
	井上 忠史
	田内 一弘
広報	久保 盛浩
	佐藤 豊
監査	都子野 清彦
	堀 司

○事務局
〒798 宇和島市和霊町一四五一番地
和霊神社内

えひめ

アンケート結果報告

245通発送内110通返信有

県内神社観月神楽の夕について

有意義 95人 無意義 0人 知らない 12人 未記入 3人

南海放送観月神楽について

有意義 82人 無意義 5人 知らない 20人 未記入 3人

ポスター配布について

役だっている 104人 役だっていない 6人 知らない 0人

テレビ案内について

役だっている 79人 役だっていない 5人 知らない 26人

昨年、本務宮司あてにアンケート調査を致しました。

(観月神楽について)

交通の便の良いところがいい・県内各地でするのが良いと思う・ずつと続けて行くことに意義があると思います・サンパークでの神楽は神道文化を理解してもらおうには大変良いことと思えますし・しかし県内神社で行なうことの方が良いと思えます・雅楽と巫女の舞だけでは物足りなく宇和島松山の神楽等五神太鼓獅子舞等郷土芸能を三、四番いれたらと思えます毎年・奉仕は大変と常々感銘しております・話では聞いてはいたが見聞をしていないのでわからない・非常に優雅なものです特に神楽各地にある特色も見たい・より多くの人たちに見て頂くための方法手段を一考・遠隔地なので参加出来なくて残念・機会に恵まれない地でも・東中南予すべてで年一回開催して頂きたい・おでんを喰って人の前でやるのは反対(サンパーク)・観月というだけでは無意義だ見せ物では価値がなくなりがて世の人が見なれてしまいいほとんど無価値となり神前での神楽まで軽視となる(サンパーク)・充分に内容等が理解されていらない節があるのでパンフレットでも・開催地に宿泊施設が欲しい(初詣案内について)

び子供の教育上大変喜ばしい・凶柄の変更に必要なし・海岸で風が強く一夜でもそれに応えるべく迎えるべきです・崇敬神社も県内沢山あるのになんでも氏神様というのには意義あり・ポスター町内へも配りたい(会報について)

ないように思われます青年会で教化活動をされては・寺院ではその参道入口などに仏の教えや人生説話などが掲示してあります・が神道でもそのようなタネ話集をだしていただくことがたい・神社界のための神社でなく一般の若い人たちにもわかりやすく魅力のある神社に・若い人たちが率先し教化活動に視聴覚を取り入れて頂きたい・小中学生対象に神社神道を普及する何か対策を・個人にしても支部にしても寄付金を一口一万円としていただいた方が良いでしょう・神社庁の活動のふがいなきを補っていたらいい感じですが・精神的なことばかりで学とか実践するとかいいう神職が少なくなっています・次代を担う若い人たちが頑張ってください・神職とはいえない神職があまりにも多すぎるふところが寂しいと心まで寂しくなるようでは神職とはいえない・講演研修会をどしどし勉強しないと(プロに徹する)と残り残される・せつせ仲間づくりを成人神職は狭い付合しか出来なくなり・豊かな時代にあわせるとはいえなからびやかとばかり祭祀に関しても好き放題故実、伝統を重んじるべし・一社の故実を一社のこじつけにしないこと(推薦書物)

行き行きて神軍・古典・歴史と旅(秋田書店)・諸君(文芸春秋)・ケガレの構造(青工社)・業隠・生命の宗仰・私にとつて神とは(遠藤周作)・アウグス講話(山田晶)・次代と日本(國の礎)・最新歴史年表・神の道標(合田正良)・逆日本史(樋口清之)・雪は汚れた・源氏物語とときがたり(村上龍)・大祓詞の解説と信仰(神社新報社)

祝 紀元2650年

還ろうよ、心のふるさとへ

本年は、初代神武天皇が奈良橿原の地(現在の橿原神宮辺)で即位されてから、2650年になります。

Q 今年(平成二年、一九九〇年)は西暦、それでは紀元何年なの？

紀元何年かというのを、基準になる最初の年をいうのです。現在一般によく使われている西暦は、イエスキリストが生まれた年を元年としたものなのです。

お隣の国韓国では、檀君紀元というものを民族の誇りとして使っています。これは太古、桓雄が熊女と結婚して生まれた子檀君の、国を開いた年を元年として、今年で四三三三年になるものです。又アダムとイブの子孫アブラハムより数えるユダヤ紀元は、五七五〇年になります。その他にもインド紀元やヒジラ(イスラム)紀元、スペイン紀元ベルシヤ紀元等、各民族にはそれぞれ独自の紀元があるのです。

それでは日本の国の紀元とされる二六五〇年前には、いったいどんなことがあったのでしょうか。それを知るためには、まず神話の世界に日本の国の始まりを訪ねてみる必要があります。

Q 日本の国はどのようにして生まれたの？

私達の日本の国生みを知ろうとする時に、日本最古の文獻『古事記』と『日本書記』があります。その中には、イザナギ・イザナミの夫妻の神が「天浮橋」の上立って、イザナギの神が神々の命によって授かった子をたまたま海面に指しおろし、かきまぜ引き上げた時に、その矛の先からしだれ落ちる塩が積り固まって島々となったとあるのです。

Q 日本の誕生っていつなの？

その後にイザナギの神は、多くの神々をお生みになり、その中の一人に左眼を洗った時に生まれた天照大神がおられます。天照大神は、孫のニギハヨヒに地上に降りたさせて新しい国土を治めるように命じました。ニギハヨヒは祖母よりいただいた勾玉・鏡を持って九州の高千穂に降りたのです。これら「三種の神器」は、今もお天照陛下の地位の象徴となっています。そしてそのニギハヨヒの孫の神武天皇によって、ようやく日本は建国の理想を掲げ統一に至ることができたのです。

Q 建国の理想ってどんなこと？

『日本書記』に伝えられる神武天皇の詔には、国民の利益・幸福を第一に考えていくこと、神々を敬うこと、正義を実践すること、世界平和を実現することが記されており、

また、神武天皇は、即位されて四年後に大和の鳥見の山に神聖な場所を定められ、お祭りをされました。その内容は『日本書記』には「大孝」と記されており、この大孝とは祖先の仰せの通りに事をなしたという意味であり、本年今上天皇陛下が齋行される大嘗祭の原型とも言われております。

Q それで紀元二六五〇年がどうしたの？

これらの事が記されている『古事記』『日本書記』の神話は、日本の教育では戦後の占領指令の影響もあって重視されておらず、しかしアメリカでは教科書に日本の国生み神話を記載、

神武天皇を日本建国の初代天皇として位置付けるとともに二月十一日を建国記念の日とし、百二十五代にも及ぶ世界最古の王朝として明記しているのです。その神武天皇が建国された辛酉の年より数えて、本年二月十一日は、二六五〇年目の節目の日であります。そして、この紀元二六五〇年・平成二年は皆様ご承知の通り、新天皇様の御即位の大礼・大嘗祭・大饗等が行なわれ、また建国の聖地として神武天皇をおまつりしている橿原神宮においても御鎮座百年を迎えるという、私達日本人にとって誠に意義深い年になります。

最近、フロンガスや公害によって自然破壊が盛んに問題になっており、自然に還ることが言われております。もちろん自然に還ることは大切なことでありますが、ただ単に文明以前のことを指向するだけでは解消されない問題が山積みではないでしょうか。人は道を失いかけた時に、歴史をふりかえり、祖先の歩みや教えの中から生きる姿勢や考え方の基礎を探し出して前進していくのではないのでしょうか。そう、そして今こそ私達の祖先が培ってきた建国の理想をもう一度見直し、二六五〇年もの歴史のすばらしさをお祝いするとともに子孫に伝えようではありませんか。

新会員紹介

- ① 生年月日
- ② 趣味
- ③ 奉務神社
- ④ 現住所

田中清之

- ① 昭和三十八年六月十日

(独身)

えひめ

- ② サーフイン・サッカー
通称 モロボシ君(光ゲンジ)
- ③ 王子神社
- ④ 宇和町卯之町

一宮康人

- ① 昭和三十八年十月二十九日

(独身)

- ② アンティークコレクション
読書
- ③ 三島神社
- ④ 保内町宮内

吉田充興

- ① 昭和三十八年三月二十九日

(既婚 長女・一歳半)

- ② スポーツ
- ③ 和霊神社
- ④ 宇和町下松葉一六

三吉真司

- ① 昭和四十年九月八日

(独身)

- ② CD鑑賞
- ③ 石鎚神社
- ④ 西条市西田甲七九七

田中聡哉

- ① 昭和三十八年一月十七日

(独身)

- ② CD鑑賞
- ③ 石鎚神社
- ④ 西条市西田甲七九七



神社授與品
記念品奉製

東京都北区堀船3丁目20番13号
株式会社 長谷川製作所
代表取締役 長谷川和夫
電話 東京(03)912-6161

各種授与品・記念品奉製

(株)新日本工芸

水戸市河和田町丹下3891
電話(0292)51-0997

御装束・御祭具 調達

(株)三上装束店

京都市中京区室町御池下ル
電話 (075) 221-4041

御装束・御祭具の御下命は

(有)竹重

京都駅から歩いて13分お立ち寄り下さい。
☎600 京都市下京区西洞院花屋町上ル
TEL (075) 371-0394(代)
FAX (075) 341-6966
振替 京都6-12431

事務局便り

大阪市大西衣料(株)様より国旗二流をご惠贈賜りました。研修会・会議等に活用させて頂きたく存じます。尚、寄贈案内状の一部をご紹介させて頂きます。

「弊社では二十数年前より国旗掲揚運動を展開いたしてまいりました。この運動のきっかけとなりましたのは、弊社創業者故大西信平が昭和三十二年に初めて渡米した際、米国の官公庁はもちろん、駅やホテル、さらには、大勢の人々が入りする一般のビルディングにさえ、平日に国旗が掲げられており、米国民の国家意識の強さに感動したことに始まります。終戦後の日本では、祝日ですら国旗を掲げる習慣が失われつつあり、国家意識の衰退を憂い、緘維を扱った弊社が社会に少しでも貢献できるささやかな方法としてこの運動を初めたものであります。

大西衣料(株)取締役社長 大西 隆
コンピュータ等最新機器を導入する企業におかれましても日本の心を失わず活躍されている様子を拝見し心強く感じました。会員諸氏におかれましても氏子崇敬者への積極的な宣揚おねがいいたします。

(吉田)

今上陛下の

皇太子時代の御歌四首

○婚約内定して(昭和三十三年)
語らひを重ねゆきつつ気がつきぬ
われのこころに開きたる窓

○歌会始御題「朝」(昭和四十九年)
神殿へすのこの上をすすみ行く
年の始の空白み初む(歳旦祭)

○歌会始御題「祭り」(昭和五十年)
神あそびの歌流るるなか告文の
御声聞え来新嘗の夜

○礼宮成年式を終えて(昭和六十年)
成年になりたる吾子は明け初めし
朝立ちけり伊勢に向ひて

皇后陛下の

皇太子妃殿下時代の御歌四首

○浩宮誕生(昭和三十五年)
あづかれる宝にも似てあるときは
吾子ながらかかひな畏れつつ抱く

○礼宮誕生(昭和四十年)
生れしより三日を過ぐししみどり児に
瑞みづとして添ひきたるもの

○紀宮誕生(昭和四十四年)

部屋ぬちに夕べの光および来ぬ
花びらのごと吾子は眠りて

○去年今年(昭和五十四年)
去年の星宿せる空に年明けて
歳旦祭に君いでたまふ

皇太子同妃両殿下御成婚二十五年
記念刊行「ともしび」より

発行 昭和六十一年
十二月二十三日
編集 一宮内庁東宮職
企画 一神社本庁

(久保蔵書)



編集後記

遅延ながら謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

本年は皇紀(紀元)二六五〇年西暦一九九〇年の節目の年です。秋には御大札(即位礼・大嘗祭・大饗・御親調)が行なわれ、春より本格的な準備がスタートします。我々青神も多忙な年になると思いますが、神社界あげてお祝い申し上げます。

(久保)

各種授与品・記念品

(株)三愛工芸

☎310 茨城県水戸市袴塚3丁目4-2
TEL (0292) 51-2051(代)
FAX (0292) 53-5844

神社授与品・神社用品奉製

奈良の

大和奉神堂

株式会社

☎630 奈良市山村町782番地
TEL (0742) 62-3235(代)
FAX (0742) 62-3228
郵便振替 大阪6-317928
取引銀行 南都銀行帯解支店